

令和5年度第1回郡山市スポーツ推進審議会 議事録

日 時	令和5年5月25日(木) 午後2時から午後4時まで
場 所	郡山市役所西庁舎5階 5-1-2会議室
出 席 者	委員(9名(11名中))※氏名五十音順 松村賢剛会長、品川寿仁副会長、齋藤道子委員、佐久間一晃委員、 鈴木裕美子委員、西田創委員、増子恵美委員、山本裕子委員、若松伸司委員 郡山市及び事務局(8名) 文化スポーツ部長 小林亨 文化スポーツ部次長兼スポーツ振興課長 柳沼貴世 スポーツ振興課 課長補佐 福本政之 課長補佐兼施設マネジメント係長 庭山春生 事業企画係長 麻生裕美 施設マネジメント係 主任 翁澤正彰 主査 上野由紀恵、主査 吉田直気
公開・非公開	公開
傍 聴 者	なし
議 事	(1) 令和4年度第1回審議会の報告について(報告事項) (2) 第3期スポーツ基本計画を踏まえたスポーツの推進について(審議事項) (3) その他

(司会：スポーツ振興課 課長補佐 庭山)

1 開会

事務局が、委員過半数出席により当審議会が成立することを報告して開会。

2 文化スポーツ部長 挨拶

- ・挨拶に先立ち、去る4月29日に開催いたしました郡山シティーマラソン大会につきましては、多くの皆様のご協力のもと事故もなく円滑に開催できました。厚く御礼を申し上げます。
- ・国は第3期スポーツ基本計画を定め、本格的にスポーツをする人、日々の中で気軽に体を動かす人、スポーツを見る人等も含め、色々な形で、スポーツ参画人口の拡大を目標として取り組んでいます。多様な主体のスポーツ参画、スポーツを通じた共生社会の実現等が求められています。
- ・一方で人口の減少や高齢社会が本格的な進行を迎えており、さらに子どもの体力低下、最近では学校部活動の地域移行地域の方針も示される等、スポーツを取り巻く課題や環境が大きく変化しています。
- ・スポーツを「する」「みる」ことは、人間の本源的な欲求で、これを行いながら充実した生活を送る、体と心の健康を維持増進していくことは、街の活力、社会の活力に繋がっていくと考えています。
- ・この審議会では、国の基本計画を踏まえ、スポーツのあり方や進め方等について、委員の皆様からご意見・ご助言をいただき、秋頃を目途に、市への提言をまとめてまいりたいと考えております。

3 会長挨拶

- ・今年の2月に第1回目を開催し、今回は2回目。審議会は第4回まで行うので、あとの2回で提言としてまとめることとなっています。実質、今日から内容についての審議が始まります。皆様のご意見

や要望を上手にとりまとめるように頑張っていきたいと思います。

- ・せっかくの会議ですので、お一人必ず1回は発言していただければありがたいと思います。

4 委員紹介

新任の佐久間一晃委員（郡山市中学校体育連盟会長・郡山市立安積中学校長）をご紹介し、一言ご挨拶をいただいた。（佐久間委員は、令和5年3月末日付で退任された宗形俊二・前委員の後任として令和5年4月19日付け就任。）

5 市職員紹介

（令和5年度4月人事異動で着任した職員を紹介した。）

文化スポーツ部次長兼スポーツ振興課長 柳沼 貴世

スポーツ振興課事業企画係長 麻生 裕美

（小林部長は、所用のためここで退席。）

6 議事

（郡山市スポーツ推進審議会条例第5条に基づき、松村会長が議長として進行。）

■会議の公開・非公開

松村会長	本日は、「第3期スポーツ基本計画の趣旨を踏まえたスポーツの推進」について、審議します。 前回の審議会で決定したとおり会議は公開とします。本日、傍聴人はおりますか。
事務局(柳沼次長)	傍聴人はおりません。

(1) 令和4年度第1回審議会の報告について（報告事項）

関係資料	【資料1】審議及びスケジュールについて 【資料2】(1)令和4年度第1回審議会の報告について（報告事項） 【資料3】運動、スポーツ、スポーツ・レクリエーション関連事業一覧 【資料4】障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル（東京都） 【資料5-3】【参考】R4第1回審議会資料（第3期スポーツ基本計画の概要）
松村会長	事務局から説明をお願いします。
事務局 (柳沼次長)	(1) 審議及びスケジュールについて 【資料2】前回の令和4年度第1回審議会の報告について説明します。 前回、審議事項とスケジュールについて了承を得ました。【資料1】をご覧ください。審議事項は、国の第3期スポーツ基本計画の趣旨を踏まえたスポーツの推進の新たな視点等を踏まえた本市スポーツ推進施策における課題等について検討いただくことでご了承いただきました。 審議は全4回開催とし、今回は課題抽出・意見交換を行い、その後、提言書骨子案の作成・確認、提言書案の作成・確認を行い、最終的に、市へ提言書を提出いただくことでご了承いただきました。

<p>事務局 (柳沼次長)</p>	<p style="text-align: center;">(2) 国の第3期スポーツ基本計画を踏まえたスポーツの推進について</p> <p>【資料2】(2)をご覧ください。前回、国の第3期スポーツ基本計画の内容を説明しました。そのときの説明資料を、今回も【資料5-3】として添付しています。</p> <p>第2期基本計画の“スポーツを「する」「みる」「ささえる」多様な参画の推進”に加え、第3期では、“スポーツの価値を高める新たな3つの視点”として「つくる／はぐくむ」「あつまり、ともに、つながる」「誰もがアクセスできる」といった考えが取り入れられました。また、東京2020大会のスポーツ・レガシーの継承発展も重点事項となっています。</p> <p>次に、本市の政策を示し、審議していただきました（【資料2】(2)①）。その際いただきましたご意見について、今回、この場で回答させていただきます。</p> <p>・「市全体のスポーツ関連事業を網羅的にまとめてはどうか」との意見について</p> <p>【資料3】「運動、スポーツ、スポーツ・レクリエーション関連事業一覧」として、まとめさせていただきました。前回の資料では、スポーツ振興課の事業のみを掲載しており、事業の対象区分、成人、高齢者、子ども、障がい者などという表記もなかったため、追加しました。</p> <p>ボランティアの取組みについても明示したほうが良いというご意見もありましたが、「スポーツ等を支える」に該当する事業として、2番「スポーツ事業開催助成事業」、3番「郡山シティーマラソン大会」などが入っています。</p> <p>また、高齢者向けの事業はあるかというご意見もあったので、14番の「高齢者の生きがいと健康づくり事業（健康長寿課）」なども入れさせていただきました。</p> <p>なお、新たなものとして、19番「猪苗代湖一周サイクルツーリズム“イナイチ”」はスポーツを活かした地域創生ということで、様々な視点でのスポーツ振興の事業を掲載しました。</p> <p>・「市のスポーツ推進計画を策定してはどうか」との意見について</p> <p>令和5年1月18日付けスポーツ庁の通知において、「事務負担軽減のため地方公共団体の総合計画等に位置付けることも可能」とされており、本市においても教育振興基本計画の中でスポーツ振興を位置づけています。</p> <p>・「ボランティア等でスポーツを“ささえる”喜びを伝える取組みも必要」との意見について</p> <p>本市でも、シティーマラソン大会において、多くのボランティアの方にいただいております。支える視点での参加方法も、皆様がスポーツに参画するという中で、大切であると捉えています。</p> <p>・「施設改修整備の際は、障がいや特性に配慮した、誰もが使いやすい施設にする必要がある」との意見について</p> <p>東京都の「障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル」を参考にしてはどうかというご意見があったので、今回【資料4】で、そのマニュアルを付けさせていただきました。</p>
-----------------------	---

	<p>資料を開いていただくと、4・5ページ等には、利用者目線に立った施設の整備という観点もあります。様々な障がいをお持ちの方、例えば、肢体不自由、知的障がい、精神障がい、視覚障がい、聴覚障がい等、それぞれの方の特性に合った様々な対応について紹介されており、大変有意義な視点であると考えています。</p> <p>今後の審議について（※前回審議会における提案）</p> <p>【資料2】の一番下の段をご覧ください。前回の審議において、事務局のほうから、国の方針の中でも「スポーツを通じた共生社会の実現」「多様性の推進」「スポーツ・レガシーの継承」については、市が力をいれていきたい部分であり、市では、昨年度より「オリパラ・レガシー継承事業」「パラスポーツの普及・啓発事業」等を行っているので、多様な参画の手法についてご意見をいただきたいと提案しました。</p> <p>以上で、前回のご報告とします。</p> <p>議事録について</p> <p>併せて、議事録について、会議の公開については皆様にご承認をいただき、前回の議事録についてもウェブサイトにて公表しました。</p> <p>前回公開した議事録は、概要として内容をまとめたものだったが、増子委員から、誰がどういう発言したかわかるようにしたほうが良いのでは、というご意見をいただきました。今後につきましては、発言内容に委員名を入れ、簡潔に文言整理した上で、事前に各委員に記載内容の確認・了解を得てから、公開していきたいと考えているので、ご意見があればお聞きしたいと考えています。</p>
<p>松村会長</p> <p>増子委員</p>	<p>事務局から、前回の議事内容の報告と、議事録の取扱いについて、説明がありました。質問や意見があれば発言をお願いします。</p> <p>前回の意見に対し、【資料3】（市全体の、運動、スポーツ、スポーツ・レクリエーション関連事業一覧）をまとめていただきありがとうございます。スポーツ振興課以外にも多くの部局が、生涯スポーツ、地域スポーツの振興、スポーツを通じた健康増進等に取り組んでいることがわかりました。引き続きスポーツ振興課が中心になり取りまとめていただくと良いと思います。</p> <p>こうして横断的に見ると、何が充実し、足りていないかが見えてきます。例えば、昔から続いている地域のバレーボール大会等が地域の交流に繋がっていることや、小学生の運動能力や体力向上に繋がっているということが見えます。</p> <p>併せて、少子化が危機的状況にあります。子育て世代がどういう環境で子育てをしたいかということでは、家族でいきいき楽しく過ごせることや、子育てしやすい環境等があると思います。市施策一覧を見て、キッズ世代が楽しんで体を動かせるような事業がもう少し含まれていると良いなと思いました。</p> <p>今後、事業計画する際には、こういった資料をもとに計画していただきたいです。</p> <p>議事録に関しては、情報公開の時代で、多くの会議がオンライン配信等も行っており、誰がどう発言をしているかが公開されているので、郡山市にも、委員の皆さんが一生懸命ご意見したことを公開していただければと思います。発言したところです。</p>

松村会長	その他に質問や意見はありますか。
齋藤委員	ボランティアに関する事業は【資料3】一覧のどこに入っていますか。
事務局 (柳沼次長)	市施策一覧資料の3番「郡山シティーマラソン大会」では多くのボランティアの方々に運営を盛り上げていただいております、また、2番の「スポーツ事業開催助成事業」の中では、例えば「CYCLE AID JAPAN in 郡山 ツール・ド・猪苗代湖」という毎年行われるサイクリングイベントで、湖南地域の住民の方々がボランティアとしてエイドステーションを担っていただいている等、ボランティアに関わってもらっている事業として申し上げたところです。
松村会長	他に質問・意見はありますか。 (質問・意見なし。)
松村会長	議題(1)については、以上とします。

(2) 第3期スポーツ基本計画を踏まえたスポーツの推進について(審議事項)

<p>関係資料【資料5-1】(2)第3期スポーツ基本計画を踏まえたスポーツの推進について(審議事項) 【資料5-2】スポーツ庁ウェブサイトより「第3期スポーツ基本計画の概要」(抜粋) 【資料5-4】令和5年度オリパラ・レガシー継承事業について 【資料6】2022年度まちづくりネットモニター第15回調査結果 テーマ「スポーツライフについて」</p>	
松村会長	事務局から説明をお願いします。
事務局 (柳沼次長)	<p>今後深めていく議題について</p> <p>【資料5-1】をご覧ください。審議事項は、「第3期スポーツ基本計画を踏まえたスポーツの推進」としてご了承いただいておりますが、その中で、特に深めていただきたい議題として、「多様な主体におけるスポーツ参画の促進」についてご意見をいただきたいと考えています。</p> <p>国の第3期スポーツ基本計画における方針においては、“スポーツを通じた共生社会”、“多様な主体におけるスポーツ参画の促進”を重点施策とし、本市においても、誰もがいつでもどこでも生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりを推進するとともに、SDGsの理念の下、一人ひとりが健康で活躍できる全世代健康都市圏の創造を目指しています。</p> <p>こうした流れを受けて、本市では、東京2020オリパラ開催を契機として、令和4年度から「オリパラ・レガシー継承事業」を開始しています。その中で、スポーツを通じた共生社会の実現や多様な主体におけるスポーツ参画の促進を図るため、スポーツの普及啓発をはじめとした事業を展開しています。</p> <p>このパラスポーツについては、障がい者のためだけでなく、障がいのある方もそうでない方も誰もが楽しめるもう一つのスポーツと捉え、より広い意味で使用しています。</p>

	<p>そうしたことから、今回、「多様な主体におけるスポーツ参画の促進」について、スポーツを通じた共生社会の実現に向けて、多様な主体におけるスポーツ参画の促進について、幅広くご意見をいただきたいと考えています。</p>
松村会長	<p>只今、事務局から議題について提案があり、今期では「多様な主体におけるスポーツ参画の促進」について審議していただきたいとのことですが、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし。)</p>
松村会長	<p>異議なしとして審議を進めます。事務局から、次の説明をお願いします。</p>
事務局 (柳沼次長)	<p>本市の状況について①(まちづくりネットモニター調査結果「スポーツライフ」について)</p> <p>2022年度のまちづくりネットモニターにおいて「スポーツライフについて」の調査結果について、今後の審議の参考になると思いますので、内容をご説明します。</p> <p>【資料6】まちづくりネットモニターは、郡山市の様々な政策について、市民の方々の意見や方向性を見るために実施しているもので、年で大体15件位、様々な内容の調査を行っています。その中で、「スポーツライフについて」の調査を2023年1月初旬に実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答者 : 309名。 ・回答者内訳: 男女比はほぼ同数。年代では40・50代が多い。 ・調査項目 : 運動・スポーツの実施状況、実施環境、スポーツ観戦について、運動・スポーツの行政サービス、障がい者スポーツ(パラリンピック競技)について <p>今回は、運動・スポーツの実施状況と障がい者スポーツについて、説明します。</p> <p>【運動・スポーツの実施状況について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2ページ「問1.あなたは、この1年間に運動・スポーツを実施しましたか？」 ⇒「取り組んだ」…52.8%。男女別では、男性60%・女性45.5%。年代別では、80代、次いで70代が多い。 ・3ページ「問2.問1で「取り組んだ」を選択した方。この1年間に運動・スポーツを実施した日数を全部合わせると、何日ぐらいになりますか？」 ⇒「週1回以上～週5回以上」…77%。年代別で最も頻度が高いのは70代。 ・5ページ「問4.問1で「取り組んでいない」を選択した方。その理由は何ですか？」 ⇒「仕事や家事が忙しい」が最も多く、「面倒くさい」「お金に余裕がない」「育児が忙しい」等の理由が多い。 <p>【障がい者スポーツ(パラリンピック競技)について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・22ページ「問21.あなたは、これまで障がい者スポーツ(パラリンピック競技)を観戦又は見たことがありますか？」

- ⇒「観戦又は見たことがある」…40%。年代的別では 50 代・60 代が多い。
- ・23 ページ「問 22.問 21 で「ある」を選択した方。観戦又は見たことがある競技は何ですか？」
 - ⇒「バスケットボール」が最も多く、「テニス」「陸上競技」が上位を占めている。
- ・24 ページ「問 23.あなたは、障がい者スポーツに関心がありますか？」
 - ⇒「関心がある」…54.4%。問 21 で「観戦又は見たことがある」が 40%なので、それよりは多いと見て取れる。年代別では 60 代が最も多く、次いで 30 代。
- ・25 ページ「問 24.障がい者スポーツに関することでしてみたいことは何ですか？」
 - ⇒「テレビで試合を観戦する」が 53.4%で 165 人と多数、「競技場や体育館などで試合を観戦したい」が 21.7%で 67 人。「競技を学ぶ・体験する」が 18.4%で 57 名。「ボランティアに参加したい」13.6%で 42 名。障がい者スポーツに関わってみたいという方はかなりいる。
- ・26 ページ「問 25.どのような取組みがあれば、障がい者スポーツに関する関心が高まるとお考えですか？」
 - ⇒最も多いのは「テレビでの中継」。オリンピック等の影響もあり、やはりメディアへの露出は大きいのではないかと。また、「競技の見どころやルールの情報発信」、「アスリートのプレーを間近で見る機会の創出」「体験会」等が多い。

まちづくりネットモニターの結果は以上です。

続いて、現在本市で行っている、「オリパラ・レガシー継承事業」について、麻生から説明します。

事務局
(麻生係長)

本市の状況について①（「オリパラ・レガシー継承事業」について）

【資料 5-4】をご覧ください。「令和 5 年度郡山市オリパラ・レガシー継承事業」について説明します。

事業内容は、東京 2020 大会のレガシーを継承し、スポーツの振興とまちづくりを推進することを目的としています。「トップアスリート養成教室」「する・みる・支えるスポーツ教育推進事業」「パラスポーツ普及啓発事業」「事前キャンプ誘致支援事業」という項目があります。

【「トップアスリート養成教室」について】

目的は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを次の世代に継承するため、今後の活躍が期待される郡山広域圏内の小中高校生を対象に、国内における著名な競技者、指導者等を招いた養成教室を開催し、必要な基礎知識、スポーツに対する考え方、技術などを学び、トップアスリートを養成することとしています。令和 4 年度の事業の実施内容については資料のとおりで、4 回実施しました。

【「する・みる・支える・知るスポーツ教育推進事業」について】

目的は、小中学生のスポーツの多様な関わり方、「する・みる・支える・知る」活動を支援し、生涯にわたって心身の健康を維持増進し、豊かなスポーツライフを実現するた

	<p>めの資質能力を育成することとしています。</p> <p>生涯を通じて、スポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う気持ちを育てる活動、共生社会の実現を目指し、他者を理解しようとする気持ちを育てる活動、自国と他国との関係に目を向けて自国の歴史や文化について理解を深め他国の歴史や文化・言語について学ぼうとする気持ちを育てる活動、ボランティア精神と温かいおもてなしの気持ちを育てる活動、スポーツを通して SDGs 目標達成を目指す活動、という内容になっています。令和4年度の事業実施内容は資料のとおりで、全15回、各小中学校で実施しました。</p> <p>【「障がい者スポーツ体験教室」について】</p> <p>目的は、障がい者スポーツの普及と理解を深め、障がいのある方と無い方の交流機会を創出することで、共生社会の実現を図り、いつでもどこでも誰でもいつまでも楽しむことのできるスポーツの機会を創出することとしています。令和4年度事業内容は、ボッチャ体験教室を3回実施しました。</p> <p>【「関係団体との意見交換会」について】</p> <p>令和5年2月7日に開催しました。令和4年度郡山市主催事業についての報告、本市障がい者スポーツの状況についての報告と、本市の障がい者スポーツ普及政策についての意見交換を行いました。いただいた意見を抜粋して紹介します。</p> <p><意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉センターではボッチャ、卓球、3B体操、グラウンドゴルフを実施している。参加者数は毎回10人程度でほとんどが障がい者である。 ・今年度から「スポーツからはじめる共生社会実現プロジェクト」(県)を立ち上げ、70件の申し込みがあり3,000人ほどを対象に実施した。障がい者スポーツを「することに対する意識についてハードルを低くしていくことができた。 ・スポーツ推進委員はこれまで障がい者との接点がなかった。また、仕事のため障がい者スポーツを知る時間もなかった。まずは知ることが大切なので、土日などの会合の際に指導者に来ていただき、そこで知ったことを各々の地域に持ち帰れば広まりやすいと思う。 ・障がい者スポーツの普及を目的とするのであれば、競技を一つに絞って実施するのがよいと思う。特にボッチャは障がいや場所にかかわらず実施がしやすい。「市民」に広く知ってもらいやすい競技に絞ったほうがよい。 <p>以上のように、様々な意見がありました。</p> <p>以上、「オリパラ・レガシー継承事業」についての説明を終わります。</p>
松村会長	<p>事務局からの説明について、まず(1)市の施策について、質問や意見があれば発言をお願いします。</p>
増子委員	<p>多様な主体のスポーツ参画促進ということで、郡山市民を対象にした場合に、どんなスポーツが好まれ、身近なところではどんなスポーツがされているか。ネットモニター調査結果にあるように、公共施設を利用している人が多く、その反面、時間帯が重なることが多く、日中の体育館等の稼働率はおそらく低いと思います。また、そういう時間</p>

	<p>帯の利用者の多くは、高齢者や退職された時間的余裕がある方々で、大体はグループで利用されていると思います。</p> <p>一緒にやる仲間がいなくても、一人で体育館に行っても、スポーツができるようになると良いと思います。例えば、昔、卓球をやっていた人で、やりたいけど一人だからできないと断念していた人に対しても、体育館の中に相手をしてくれる指導員やボランティア等がいたら、すごく良いのではないかと。そんなに本格的ではなくても、相手をしてあげることができれば良いと思います。</p> <p>郡山市には、飲食業の方など平日休みの人が結構いると思いますが、そういう方が、ちょっとジムでトレーニングしたいけれど、やり方がわからないという場合にも、指導員等から指導してもらえたら良いと思います。そうした市民の生活状況に合わせて、スポーツの推進を考えてもらえたら良いと思います。</p> <p>また、多様な主体について。同じ年代の中でも、例えば子どもの中でも、障がいのある子、運動が得意な子、苦手な子等、色んな子がいます。また、性別も多様な取扱いがあり、そうした中で、どういう取扱いをするか。今までは、障がい者や健常者というカテゴリーだったものを、年代別の中で、その中にも実際には障がい者もいるよねという対応にするとか。どういった立て付けにするかも含めて話し合えたらいいと思います。</p> <p>そして、国の第3期基本計画を意識されるのは、当然良いのですが、郡山市は中核市でもあり色々な先進的な取組みもされていると思うので、郡山らしい独自性を出したスポーツ政策に取り組んでみてもいいのかなと思いました。</p>
松村会長	<p>ありがとうございました。多様な主体におけるスポーツの参画の促進について、ご意見をいただきました。その他はどうでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>先ほどの増子委員の発言にも関連しますが、多様な主体の人達がたくさんスポーツの会場に集まるというのはすごく大事。今までの私達の意識では、健常者と障がい者のスポーツにラインが引かれていたので。</p> <p>私は特別支援学校の校長をやっていた経験もありますが、ボッチャやフライングディスク等、生徒達がすごく喜んで参加していました。</p> <p>パラリンピックの選手達の活躍を見ていると、障がい者がやる競技というよりも、むしろ、健常者にとって難しいような競技もたくさんあります。ブラインドサッカーやサウンドテーブルテニス、ソフトボールなど。シッティングバレーやブラインドサッカーなど、本当に難しく、健常者たちが自分の運動能力を開発するためにやったほうがいいのではと思うようなスポーツもたくさんあります。</p> <p>それから水泳は、学生時代に施設を見学しに行ったとき、職員の方から、障がいを持っている人達は体が解放されるので水泳が好きなんだよと、聞いたことも印象に残っています。</p> <p>多様な主体の人達に呼び掛ける広報活動や、生徒達に向けて講演をするというのはとても良い試み。一般市民に対して、こんなスポーツをやってみませんかと呼び掛けて人が集まることによって、今まで障がいを持っている人達の中のスポーツとされていたものが、参加する人が増えることで、さらに発展して行くように思います。</p>

	<p>質問ですが、学校での講演やスポーツ指導以外に、市政だより、イベント等、一般の人達も一緒に楽しめるような広報をどうされているのでしょうか。</p>
<p>事務局 (福本補佐)</p>	<p>市から発信する場合、ウェブサイトや広報こおりやまでの広報が中心となっています。資料を作成した場合には、学校に配布することもあります。</p>
<p>若松委員</p>	<p>県障がい者スポーツ協会の理事もしております、若松と申します。</p> <p>ちょっと手厳しい話ですが、市からの情報提供がどうなっているのかと質問を受ける状況自体、広報活動がどうなのかと思います。</p> <p>先ほどのネットモニターの結果でも、スポーツ観戦したことがある方が結構いるようで、B.LEAGUE やVリーグの話も出ました。</p> <p>駅前等にJリーグチームのクラブハウス等があるが、優勝カップや選手の写真が飾ってあったりと、私自身、行ってみて楽しかった思い出があります。</p> <p>自分自身の話で、レッドホープスの試合を見に行ったとき、ユニフォームを着て行ったかったけれど、結局どこで買えるかの情報が分からず、皆で赤いTシャツを着て行こうとなり、皆で応援に行った。ファイヤーボンズの試合では、会場で売っていて、その場で買って着て応援して、楽しかった思い出があります。</p> <p>そういう情報が、一か所に集まる情報拠点が欲しいと思います。イオンなどのショッピングモールの中などにあれば、障がいのある人達も、あえて行くというより、遊びに行っただけで見られるので、そういう場所があると良いと思います。パラスポーツの情報等もたくさんあって、モニターで映像を映しておく等も良いと思います。</p> <p>また、私はボッチャの普及にも関わっていますが、ボッチャは、畳一畳分あれば体験できるので、ボッチャの用具を置いて触れてもらうなど。市民の方々に触れ合っていたくスペースがあるといいなと思いました。</p> <p>情報発信については、試合のポスターを貼ったり、シティーマラソンであれば終わったときに各部門の優勝者の名前だけでも出ていたら、学校で「君の名前載っていたよね」なんて話題になったりして面白いのかなと思いました。</p> <p>ネットモニターの考察の部分で、「情報・魅力発信や環境整備に加え、誰でも参加できるスポーツ環境整備等が必要だ」と書いてあるが、結局具体的なことがよくわからない。私は情報発信基地のようなものがあると良いと思いましたし、そういう所があれば、私も携わってみたいと思いました。</p>
<p>松村会長</p>	<p>ありがとうございました。広報や情報発信について意見がありました。他にはありませんか。</p>
<p>山本委員</p>	<p>先ほど、増子委員からいいお話をいただきました。一人でも体育館に行って卓球をしたいときに、ボランティアの方がいて一緒にお互いにスポーツを楽しめる仕組みができたらいいと思いました。</p> <p>各施設で、例えば体育館で卓球をしたい、プールに行って泳ぎたいというときに、誰かボランティアなどで支えてくれる、お互いにスポーツができる、その方も一緒に動け</p>

<p>松村会長</p>	<p>る、というような仕組みを確立できたと思います。</p> <p>また、オリパラ・レガシー継承事業の中で、小中学生向けに障がい者スポーツの教室をやっているとのことですが、それに加えて、子どもたちがもっとボランティアに参加できるような形があるといいと思います。スポーツに興味を持ちながら、共に楽しみ、ボランティア、運動ができるような仕組みがあったらいいなと思いました。</p> <p>ありがとうございました。ボランティアの育成、それから専門性を持ったボランティアなどを創る機会があったら良いのではないかという意見です。</p>
<p>品川副会長</p>	<p>スペシャルオリンピックスの品川です。スペシャルオリンピックスは、主に知的障がいの方がアスリートと触れ合うスポーツの機会を提供していますが、この多様な主体という中に、知的障がい者も入ってくると思います。</p> <p>その中で、知的障がいがあると、スポーツを楽しむ前に色んなハードルがあります。個人だと、情報を得ること自体も、会場に行くことも難しい。そして、スポーツのルールを理解することや、体験し楽しむところまでも、やはり支援が必要なので。ボランティアでサポートしてくれる方がもっと増えると、知的障がいの方もスポーツに触れる機会が増えるのではないかと思います。これは関係するコーチボランティアからも多く出ている意見です。</p> <p>スポーツの専門性というよりは、まず知的障がい者の方と関われることからで充分で、そこから一緒にスポーツを楽しむとか、支えるという所にも広がってくるのではないのかなと思いました。</p> <p>そして、スポーツを通じた共生ということに関しては、障がいだけではなくて、子ども、ママさん、若者、高齢者だったり、色んな主体があると思いますが、市の各関係する部署の方もこの推進会議に入っていた方がいいのではないかと思います。</p> <p>障がいにもスポーツ以前の課題があるが、その部署でスポーツの参加を促すことができたり、一緒に共生ということを考えると、色んな部署が入ってもらえるといいのではないのでしょうか。</p>
<p>松村会長</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>齋藤委員</p>	<p>情報拠点を作るというのはすごく賛成です。そういう場所があると、ふらっと行った中で、新たな情報が得られるという効果があると思うので。ただ、場所を作り人を配置するとなれば、当然お気楽な予算では始まらないと思います。</p> <p>そういう中で、郡山のスポーツのプラットフォームのようなものがネット上であればいいと思いました。</p> <p>ネットモニター結果の11ページでは、「1年間に現地で観戦したことがある」人が4分の1もない。せっかくファイヤーボンズ等、様々なスポーツ観戦する機会があるはずなのに、情報をどこで取れるのかわからないというケースが多分あるのかなと思います。</p> <p>ボランティアに関して、スポーツルーターズでもポータルサイトを作って発信してい</p>

	<p>ますが、様々な希望にぴたっと合うというのは相当難しい。そのためには、マッチングアプリではないけれど、まさに多様な主体がアクセスする、郡山のスポーツはそこで探せば、色んなことが出てくるようなものがあると、ボランティアに関して、結構ピンポイントで、いいマッチングができるのかなと思いました。</p> <p>ただ、ボランティアは結構リスクもあって、志とか気持ちがある人を断れない。ただ単にボランティアを求めても、やはり研修等をきちんとやらないと、却ってトラブルが起きたりするので、そこも合わせてやる必要があるかなと感じました。</p>
松村会長	<p>ありがとうございました。郡山市として、アクセスすると、スポーツ関係の、ボランティアも含めて、情報がたくさん得られるような手段は、今の時点ではありますか。</p>
事務局 (柳沼次長)	<p>ウェブサイト等では、スポーツ施策の発信をしていますが、市全体規模でのポータルサイトというのは、把握していません。今のお話を聞いて、確かにそうした情報の場を作るというのは、良いお話だと思ってお聞きしていました。</p>
松村会長	<p>今のところ、市のスポーツ関係の情報が集約されている場所はないとのこと。郡山市体育協会には、ホームページがあって、所属している競技団体のほうから依頼があればホームページに情報を載せることにしています。</p>
佐久間委員	<p>守山中学校に勤めていたとき、総合的な学習の時間の福祉の勉強の中で、当時の学年主任が、手話教室やボッチャ体験を企画し、増子委員にも講師としてお越しいただいて、ボッチャ体験をすることができました。生徒が本当に喜んで参加して、終わった後ももっとやりたいと言っていました。多様な主体におけるスポーツ参画というのは、子ども達にも色んな経験をさせることが大事だと思います。</p> <p>【資料5-4】の中で紹介いただきました、「する・みる・支える・知る」スポーツ教育推進事業では、ボッチャや車椅子バスケットとか、色々な内容があるので、これをもっと学校現場に対して、こういうことができますと紹介して広めるのも一つ方法なのかなと思います。</p> <p>私も中学校の校長をしているので、校長会で取組みを紹介したり、学校だよりに出したりとかして、もっと広報しなければと感じていました。</p>
松村会長	<p>ありがとうございました。その他いかがでしょうか。</p>
増子委員	<p>郡山市らしいものは何だろうと、皆さんの意見を伺いながら、パッと閃いたことをお話しすると、毎年5月5日にこどもまつりを開成山公園等でやっていて、昔、自分自身も、SL 広場でSLに乗ったり、色んな所でやっているイベントを回るだけでも相当な歩数で、クタクタになるまで遊び切った思い出があります。</p> <p>また、郡山市は公園がたくさんあり、アウトドア資源もある。スケート、山にも登れる、猪苗代湖もある、そういった郡山市民の皆さんが常にお休みのときに楽しんでいる資源も、アウトドア、スポーツにどんどん活用して行った方が良いのかなと思います。</p>

	<p>今はキャンプがとても流行っていて、私もデイキャンプを趣味にしています。空き地になっていて火災の心配がないような場所をキャンプ場として整備したり、その近くにウォーキングできる環境を作ってあげる等。ネットモニターの結果にもあるように、ウォーキングは全国的にどこでも一番になります。管理に大きく手間がかからないような方法で、歩道はおしゃれなタイル張りにしなくても、木のチップをしっかりと固めてやれば、滑り止めにもなるし、バリアフリーだと思います。また、危ない所にはしっかりと安全策を対応するとか、リスク管理もする。アウトドア、スポーツの推進も含めて、郡山市の特性としてあるのではないかと思います。</p> <p>もう一つ、市民の皆さんが、スポーツをする理由は、例えば子どもであれば、人間成長や身体の成長促進であったり、大人であれば健康増進であったり、中高生や青少年期であれば競技力向上とか。各年代に合わせスポーツをする目的を明確にすることで、市民全体が生涯にわたり、スポーツを通して健康的に過ごしていけるのだらうなと思いました。</p> <p>また、市内・県内には、医大や医療専門学校、看護医療専門学校等があります。郡山市には、病院がたくさんあります。特にあさかホスピタルさんがスペシャルオリンピックスを支援しているように、医療との連携は、市民の健康に直結すると思います。今度、郡山富田駅周辺に医療産業の拠点ができると思います。そういった機関と連携して、スポーツを通じた市民の健康維持をどう進めていくとか、健康診断のデータの活用等で、健康状態の傾向等、どの世代に肥満の傾向があって、どういう運動不足の状況なのかとか、そういったものも含めて、エビデンスをしっかりと構築していくこと必要なのかと思います。</p> <p>併せて、オリンピックやパラリンピックに出るようなプロを目指す人も増えてきている中で、やみくもにトレーニングをして、中央と同じトレーニングができるかという点、まだまだ地方では成長期に合わせた取組みがされていない場合もあります。事故防止のためにも、医療関係者と一緒になって、スポーツ傷害の予防も含めて、ジュニア期から高齢期までのこういったトレーニングをしたらいいかというのを、しっかり連携して作っていくことも必要ではないかと思います。</p> <p>郡山市の特色を生かすという意味では、スポーツの資源、自然の資源、そして医療との連携を踏まえて進めていくと、きっと他とは違ったことで、進んでいくのかなと思いました。</p>
松村会長	ありがとうございます。その他いかがでしょうか。
西田委員	<p>プロバスケットボールチーム・ファイヤーボンズの立場で、試合、興業の際に、人を集めるということが割とできやすいので、そのときに、少しでも歩いて会場に来ていただけるような仕掛けを作っていきたいと思っています。</p> <p>今考えているのは、駅前から体育館までのルートで、茶色の電力の分電盤が埋まっている所等に、例えば郡山市にもご協力いただけるようであれば、そういったところにファイヤーボンズのラッピングデザインのようなものをして、そこに QR コードを付けて読み込んでいただき、体育館でまで行けば何かグッズがもらえる等というような、運動</p>

	<p>を促す環境を作るということも、併せて考えなければいけないなと思っています。</p> <p>駐車場が足りないという問題は、ずっと付きまとうと思うので、車じゃなくてもいいじゃんと思えるような環境を、民間の我々も頭をひねって考えていきたいと思っています。何とか形にして行きたいです。</p> <p>もう一つ、情報拠点という話がありました。我々は今、ビッグアイの1階に、アンテナショップ的に「ボンズベース」という場所を構えています。この目的の一つとして、地域のスポーツの絆になれるよう、「ボンズベース」という名付けをしています。我々がそこで商いをするのはもちろんですが、例えばそこで、デンソーエアーリーブーズさんや福島ホープスさんのチケットが買えるというようなことも、我々は是非やりたいし、そういうことを役割としてお任せいただけるのであれば、拠点としても使っていただけたらいいなと思います。</p> <p>先ほど齋藤委員からもあったように、市独自で場所と人を出してとなると、相当な予算がかかると思うので、我々のリソースをうまく使っていただきながら、1階でよければ、市の関連施設でもあるので、ご検討いただけたら、全面的にご協力させていただきたいです。ふらっと来た人がそこで試合の情報を知るとか、ちょっとした展示スペースで、各クラブの功績を知るとか、そういったこともお手伝いできるのかなと思いました。</p>
松村会長	<p>ありがとうございます。その他いかがでしょうか。</p>
佐久間委員	<p>先ほどの増子委員からのこどもまつりの件で、一つ思い出したことがあります。</p> <p>私は今校長ですが、教諭の頃はずっと野球部の顧問をしていました。野球は今すごく競技人口が少なく、私の勤めている安積中学校は野球が盛んな学校でしたが、今では3年生は9人、2年生がゼロ、1年生が1人という状況。野球の人口が減ってきているということで、こどもまつりのときに、私と他何人かで開成山野球場でキャッチボールイベントを行いました。皆親子でキャッチボールできればいいですが、お母さんでキャッチボールができないとなると、私達が5人いたので相手をしたのですが、一日やっているとさすがに疲れてぐったりでした。そこで、2年目のときは、高野連の事務局を担当していた日大東北高校に相談し、日大東北高校の野球部にボランティア参加をお願いしました。高校生が試合用ユニフォームで来るので、子ども達も大喜び、お母さん達も大喜びで、一緒に記念写真を撮ったりしながら実施した思い出があります。高校1年生が来てくれましたが、その子たちに「ボランティアをするといいいことがあるよ」と言った記憶があります。すると3年生になったときに見事に甲子園出場を果たしたという非常に良い思い出が残っています。</p> <p>何を言いたいかというと、野球に限らず、子ども達が今、外で遊ぶ機会が少なくなってきたので、野球場や公園、体育館等色んな所で、遊ぶスペースを解放し、教員もそうですが、ボランティアを募って楽しく遊ぶ、そんなことができたらと考えています。</p> <p>野球の方でも、キッズボールパークという柔らかいボールやバットで野球遊びとかボール遊びをしたり、野球だけじゃなく鬼ごっこをしたりとか、ほかの種目をやったりとか、そんなことをしているので、子ども達に、もっとスポーツをさせる場所と時間の提供ができればいいのかなと思いました。</p>

松村会長	<p>ありがとうございました。その他いかがでしょうか。</p>
松村会長	<p>私からお話をさせていただきます。郡山市は、今の旧市内の他に、旧安積郡や旧田村郡など 14 町村が合併して今の姿になりました。例えば今の富久山町、安積町、片平町、喜久田町とかは異なる町村でした。昭和 40 年に合併したとき、行政は全て市の支所になりましたが、各体育協会の団体は地区体育協会として今も残っており、富久山地区体育協会などという形であります。交通安全協会とか防犯協会等も、14 地区あります。</p> <p>ただ、コロナのときに各地区体育協会のほとんどが活動を休止しました。お年寄りがメインになっているため、感染したら大変なので。3年間くらい全く中止になって、その後のアンケートでは、再開できないと回答しました所がかなり出ました。どうやって再開していいかわからない、ノウハウがないということ。</p> <p>今、体育協会のことで一番心配しているのは、各地区体育協会の活動が全く停止しており、今まで行っていた運動関係の行事がゼロになりました。これはかなりの問題で、各地区の会長さんを集めて協議会をやろうということになってはいますが、再開の手助けをどういう形でやっていったらいいのか。協会のことは協会でやれと言われれば、ある程度はできても、なかなか完全にはいきません。</p> <p>頼りにしているのは、社会教育を担う公民館。ほとんど公民館と一体で活動しているので、地区の公民館にも応援を頼んで地区の運動をもう一回再構築あるいは復活させたいと思っています。そうすると、地域のコミュニティや壊れたものもだんだん復活できるのかなと思いました。</p> <p>確かに多様性という所から見るとお年寄や、子ども等、数は少ないかもしれないが、地区にとっては地区が壊れてしまうという危機感もあるので、行政として何か手を打てるようなことを、この審議会の中で1項目あたり、みんなで力を合わせてやっていけばいいかなと、私個人としては思っています。</p>
増子委員	<p>松村会長のお話で、地域の活動がコロナで出来なくなってしまったというのは、深刻な問題。地域のスポーツを支える体育指導員さんやスポーツ推進員も含めて重要だと思いますが、活動再開について自力でなんとかするのは大変です。</p> <p>ふと思ったのは、先ほど郡山市の資源として、もう一つ、大学があります。それこそ、日本大学では、まちづくりデザインの学科もあるし、ボランティアに来てほしいとて言うと、積極的に参加してくれます。例えば猪苗代湖の水草刈りとなると、ゼミごと来てくれて、あの臭い水草を一生懸命刈っていただいたり。体力があって若い、そして知識もアイデアもある。地区の皆さんがどうやって地域のスポーツを復活できるか、そして行政区の町をどうデザインしていくかというのを、スポーツを絡めて、教育と連携してやっていくと有効なのではと思いました。</p>
松村会長	<p>今、日大の話が出ました。体育協会の各競技でも日大にボランティアを頼んでいます。今度行っ 駅伝大会でも、日大の陸上部とボランティアさんに協力してもらおう予定です。教授も来ていたので聞いたところ、ボランティアに参加すると単位に加算されるようで、学生さんも喜んで来てくれるようです。</p>

齋藤委員	<p>福島市では、地区体育協会対抗の市民体育祭があり、全種目の総合得点を地区で競うものがあります。各競技の大会はそれぞれ別に開催されるが、その成績のポイントが、所属している地区体協に入り、その総合得点で競うということを、1年を通してやっています。そうすると、競争意識が働いて、皆さん地区の点数を上げたいので、地区の人達の間で、何かできる競技はないかと積極的になり、おそらくただ休んでいる地区体育協会はあまりないと思います。その地区代表の人が頑張らなくても、競技ごとに大会があるのでそこでポイントが入るようになっていく。例えば、私の娘がやっている競技で入賞したら、私がいる地区に点数が入って、地区の人からありがとう！と言われる、そういう仕組みになっています。そういうポイント制なので、仕組みを作ってしまうと、子どもからお年寄りまで、例えば70代のバレーボール大会であっても、それがポイント制の体育協会の対抗ですよという、みんな一生懸命になってやっています。</p>
松村会長	<p>ありがとうございました。素晴らしいですね。</p> <p>郡山市の市民体育祭は、各競技団体で計画したものは大体ほとんど実施していますが、地区体育協会で行う地区の運動会が開催できないということで、今困っているところ。全市的にポイント制でやるのはいいアイデアだと思いました。</p>
増子委員	<p>質問ですが、郡山市のスポーツ顕彰はありますか。県体協に推薦する等ではなくて、郡山市民が活躍したとき、地区の大会でポイントが貯まったとき、一位になったとき等に市から表彰するような。</p> <p>あと、郡山市の小学校の水泳大会は、結構有名だったと思うのですが。</p>
山本委員	<p>有名なのですが、最近のコロナの状況で開催できていませんでした。</p>
増子委員	<p>大々的に表彰されて、週末の郡山のテレビ放送などで流してもらえたら、すごく子ども達やお年寄りも嬉しいのではないのでしょうか。テレビに映るのはすごく喜ぶと思います。顕彰も、負担にならない程度でやってあげたら、皆さん喜ぶと思いました。そして、福島市のポイント制は、確かに今熱いですよね。</p>
齋藤委員	<p>ビッグアイのボンズベースに、成績の棒グラフを作っておいていただいて、見られるようにするとか。</p>
増子委員	<p>スポーツ振興課のサイトにアクセスすると、地区のポイントが見えるようにしたら、面白いですね。</p> <p>福島市は、障がい者の市民体育祭もあるのですよね。</p>
齋藤委員	<p>障がい者も個人のポイントが入ります。</p>
松村会長	<p>山本委員、小学校の水泳大会は無くなってしまったのですか。</p>

山本委員	<p>コロナでここ2年位は開催できていません。</p>
松村会長	<p>校内の記録を集めて順位を付けるということはやっていますか。</p>
山本会長	<p>各学校で別々にはやっているようですね。 また、先ほどの地区体育協会の話について。前年度、地区で役員を担当し、総会を行った際、新しく来た方から「なぜ地区でスポーツ大会をするのですか」という質問がありました。新しい住宅地の中だと地区体育協会の活動をなかなか理解してもらえない状況もあるように思いました。</p>
鈴木委員	<p>この会議の目的はスポーツ振興なので、そういう意味で、思い付きですが、新しいものを作ること、既存のものを利用すること、私自身の最近のことについて報告します。 まず私自身は、月に1回、子ども食堂のボランティアに関わっています。こども食堂のようなシステムのスポーツ広場が色んな所にあつたらいいなと思いました。ほつたらかしては危険を伴うので、月に1回でも2回でも、スポーツをやりたい人がその計画を立ててやる。ストリートピアノがあるように、そこに行けば、誰もが好きなときにスポーツが出来るというような形で。月に1回、体操をしたり、ダンスをしたり、バスケットをしたり、きちんとした専門家もいて教えてくれるとか。そういう空間があると、いいなと思います。 それから、新しく何かを作るのは大変ですが、各町内会には必ずいる体育担当者に対して少し色んなアイデアを提供して、活性化させると、町内単位でスポーツ推進できるのではないかと思います。 何かを始めるには、資金が必要になりますが、福島県にはスポーツ振興基金があります。私はこれの委員を十何年か関わっています。12月頃に募集があり、申請して審査をクリアすると新年度の予算がつきます。そういった公的な予算の活用方法を多分知らない方が多いのではないかとということで、色々とウェブやポスターで宣伝をしていますが、その類の情報は、関心がある人でないと中々自分で得られないので、公的な資金の積極的な活用についての情報も差し上げるといいのではと思います。 私自身は最近、コロナの前に始めたボウリングとかゴルフとかが中断しているので、ジャイロトニックを始めようと思ったが、ジャイロトニックはなくて、ジャイロキネシスがあったので始めました。退職してからの運動量というのは激減するので、健康のために何か始めたいという意識は、退職してから切実に感じています。 あと、握力の強い人は元気でいられるというのが、測定した人たちの常識。握力向上と足底筋を鍛えようと思って、ボルダリングを始めました。新しい体験はすごく面白くて、体を動かすのはこんなに楽しいことなのだと切に感じているので、もっと健康や交流のために、市民全員がスポーツに気軽に楽しく参加していただけるようなアイデアをこの場でどんどん出して実現させていけたらいいなと思います。</p>
松村会長	<p>ありがとうございます。その他いかがでしょうか。</p>

<p>増子委員</p>	<p>今、鈴木委員から握力の強い人は長寿だとお話があったように、歩行をする人は健康的です。歩くことは、体育施設に行かなくても、身近なところでできます。車椅子に乗っている人も、ただ在宅で車椅子に乗っているよりも、押ししてもらって散歩したほうが、気分がスッキリして、心も健康維持できます。知的障がいの施設の方が皆で集まって散歩している所や、保育園でもカートに乗って散歩している所も見かけます。</p> <p>最近では車社会ですが、高齢者も免許を返納しなくてはならないということもあります。そうすると、バス等公共交通機関をご利用くださいとは言っても、時間が合わなかったりするのです、やっぱり歩くことは大事だと思います。</p> <p>市内を見ると、雪が降る所は、車道と歩道の高低差は結構あります。それ以外にも、側溝の上の金網や、古い型の側溝のふた等、20・30年経って古くなり、ガタが来ている所も多くあると思いました。側溝のふたもガタが来ていると、その上を車が通ると音がしてしまう。ガタガタと騒音が聞こえたとお住まいの人は気になると思います。</p> <p>そういう意味で、市民の皆様が歩きやすい環境を整えることは、健康維持にも繋がるし、市民の皆さんが自転車も含めて、歩きやすくなるといいと思います。</p> <p>そして、先ほど言った部局の横断的な取組みとして、スポーツ施設もしくはボウズの試合を見に行く所で、歩いてここまで来たらあと何歩です、あと、もう少し頑張れば何キロですというような表示が出るものを整備して行くことも必要なのかなと思います。</p> <p>郡山市は、長年シティーマラソンをやっているのです、開催が近づくと、市民ランナーが街の中をよく走っています。</p> <p>最近、福島市でもシティーハーフマラソンが始まって、私は、毎朝5時位に犬の散歩をしますが、今までになかった位、市民ランナーが練習をするようになっていました。</p> <p>最近、福島市はまちづくりをすごく頑張っていて、街が綺麗になってきた。照明をLED化したり、安全に配慮したまちづくりをしているのが見受けられます。</p> <p>郡山市は、市民ランナーがもともと多くて、朝方走る人も、夜走る人もいるので、暗いので事故に遭われてしまったという事例もありました。</p> <p>まず、スポーツを推進する上で、皆さんがウォーキングしやすい、安全に配慮した取組みを、スポーツ振興課と土木関係部署の皆さんと連携してまちづくりをして行って欲しいと思うので、そういうことも含めて盛り込んでいけたらいいと思いました。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>先ほど一緒に言えば良かったですが、ジャイロキネシスを始めて気がついたことがあります。私は猫背を治そうと思って始めましたが、一緒に受講している人たちは実はスタイルも良いし、健康的な人達。本当に肥満とか虚弱とか鍛えなきゃいけない人はそういう所に来ないのかなと、意外でした。必要というより、意識が高いから、より健康によりスタイルが良くなるように来ているのかなと思いました。教え子が健康瘦身サロンを開いたときに同じことを思ったようで、皆さん綺麗で矯正する必要がないのだそう。むしろ一般の人よりも意識が高いから、より高めたくて来ているのだとつくづく感じたそうです。それで、本当にスポーツをやったほうが良いという人たちを引き出すのも、私達の役割ではないのかなと思いました。</p> <p>それから、福島市のシティーハーフマラソンは5月21日に行われて、そこに少し立ち会いましたが、皆さん楽しそうで、むしろスポーツマンタイプの人達というより、一</p>

	<p>般の人達もいっぱい、子どもも高齢者も参加していて、無理のない楽しそうな良い光景を見られて良かったなと思いました。</p>
松村会長	<p>ありがとうございました。</p>
品川副会長	<p>スペシャルオリンピックスとは別に、私は社会福祉法人安積愛育園に所属しており、そこで子ども食堂もやっています。鈴木委員がおっしゃったように、子ども達に食事を提供するだけでなく、活動の場も提供しています。コロナ前は、地域の小学校に声をかけ、ミニ運動会をしようということで、学校を超えて参加者を募った 20 人位と、ボランティアの学生を交えて運動の場を作り、とても好評でした。</p> <p>郡山市の子ども食堂ネットワークという、子ども食堂の加盟団体が、今年 22 団体になっています。こども政策課が管轄しているが、その子ども達やボランティアで関わる人たちに、スポーツの場を提供するという、コラボするような持って行き方もありなんじゃないかなと思いました。スポーツを支える人達だけでどうにか推進しようということではなく、街ぐるみで連携して、子ども食堂だったら優先的に公共の体育館を貸しますよとか。そういう特権のようなものをうまく使うことで、広げることもできるのかなと思いました。</p>
事務局 (柳沼次長)	<p>本当にたくさんのご意見ありがとうございます。皆様からご意見を私なりにざっとまとめました。</p> <p>まず、情報発信拠点。たくさんの方、様々な方々に、まずスポーツに参加していただくための取り掛かりとして、情報発信拠点があるといいなというご意見がありました。例えば、ボランティアや様々なスポーツイベント情報の発信等、またそういったものを盛り込めるような場所があると良いのではないかというご意見でした。</p> <p>地区ごとに体育協会や様々な町内会等がありますが、地域ごとのスポーツの振興が必要ではないかというご意見もありました。</p> <p>取り掛かりという所でも、歩いて動けるような環境づくり、ウォーキングをしやすい安全安心なまちづくり等も進められると良いのではないかというご意見もありました。</p> <p>ざっくりではありますが、そういったご意見だったかなというところです。</p> <p>皆さんから本当にたくさんのご意見をいただきましたので、後ほど議事録等まとめて、意見を類型化して行きたいと考えています。</p>
松村会長	<p>今、事務局からまとめていただきました。次回は、意見をとりまとめ骨子案として、提案をするということで、次の会議では、その精査を行うということでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
松村会長	<p>議題 2 の審議については、以上とします。</p>

(3) その他

松村会長	<p>次に、議題3「その他」になりますが、委員の皆様から何かありますか。</p> <p>(質問・意見等なし)</p>
松村会長	<p>ないようですので、事務局から何かあれば、お願いします。</p>
事務局 (柳沼次長)	<p>佐久間委員から、郡山市立学校部活動の地域移行に向けた動きについての資料のご提供がありましたので、佐久間委員からご紹介をお願いします。</p>
佐久間委員	<p>前回、前任の宗形委員が参加されたときに、部活動地域移行の話が出ていたものから、その関係資料を持ってきた次第です。詳しくはお読みいただければと思います。</p> <p>郡山市教育委員会において、郡山市の学校部活動の地域移行に向けたアンケート調査を実施したものです。2枚目をご覧ください。これは昨年、郡山市内の小中学校の教職員、小学5・6年生、中学1・2年生を対象にアンケート調査をしたもので、郡山市教育委員会学校管理課がまとめた資料です。子ども達の部活動に関する取組みや、教職員の指導等についての希望も含めてまとめてあります。</p> <p>1枚目に戻ってください。簡単に話をすると、今、部活動の地域移行ということで、週休日を地域指導者をお願いするという形で進めています。実際に、地域移行が進んだ場合、学校の教職員も兼職兼業届を出せば指導はできるのですが、あなたはこれを希望しますか？の問いに、希望する職員は、小学校では3.6%、中学校では20.13%という結果でした。私も希望する方で回答しましたが、2割ということは8割の指導者がいなくなってしまうので、地域の方とも協力しながらやっていかななくてはいけないということが、これでわかります。</p> <p>2ページをご覧ください。こちらは、自分の学校に部活動があるなしに関わらず、何に入りたいですか？という質問です。バドミントンが第1位で725人。次がバスケットボール、バレー、ソフトテニスと続きます。野球は第11位で336人ですから、うちの学校が10人程度なのは、なるほどということになります。今の子どもたちの興味関心はこういうところにあることが調査結果からもわかります。</p> <p>最後に、1枚目の裏の所、郡山市の今後の方向性という所で、地域部活動と関連して、今年から、教育委員会が音頭を取り、専門家の方との合同練習会などをモデル事業として行っていく予定です。種目としては、陸上競技、水泳、新体操、アイスホッケーで、今年度から始まります。これからまた種目を広げて取り組んでいくので、何か情報があれば、お知らせいたします。</p>
松村会長	<p>その他ございますか。</p>
齋藤委員	<p>福島県の委託事業という形で、私たちスポーツルーターズは、年間合計4回、スポーツボランティアの研修会をやっています。今年、郡山市で開催するのは、リーダー研修になります。田村市でもあるので、ぜひご活用いただければと思います。</p>

松村会長	<p>その他いかがでしょうか。</p> <p>(質問・意見等なし)</p>
松村会長	<p>なければ事務局の方でございますか。</p> <p>(質問・意見等なし)</p>
松村会長	<p>その他。特になしということよろしいでしょうか。</p> <p>議事を終了いたします。たくさんのご意見をありがとうございました。以上で、議長の座を下ろさせていただきます。ありがとうございました。</p>
事務局 (庭山補佐)	<p>松村会長ありがとうございました。また、委員の皆様方、慎重なご審議ありがとうございました。</p> <p>次回の審議会については、令和5年7月下旬の開催を予定しております。日程調整をし、改めてご連絡を差し上げたいと存じますので、宜しくお願いします。</p> <p>以上をもちまして、令和5年度第1回郡山スポーツ推進審議会を終了いたします。</p> <p>皆様、本日はお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございました。</p>